





# WARU WARU! 株主通信

# 株式会社サークルドサンクス

# 2008年2月期中間期 2007年3月1日~2007年8月31日

[証券コード:3337]

# CONTENTS

- 01 \_ 株主の皆さまへ
- 02 \_ 商品統合完了! 攻めのマーチャンダイジングへ
- 03 \_ 投資家の視点
- 08 \_ ホームページ全面リニューアル
- 09\_要約財務諸表
- 14\_社会的責任への取り組み
- 15 \_ コンビニエンスストア業界比較
- 16 \_ 株主様アンケート結果のご報告
- 17 \_ 株主還元策
- 18\_株式情報/会社情報

# 株主の皆さまへ



代表取締役社長 中村 元彦

株主の皆さまには、平素より当社へのご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

2007年5月の社長就任以来、私は徹底した質の向上を目指し、社長として、また営業統括本部長として現場に 軸足を置きながら、営業力の強化に取り組んでまいりました。出店においては「量」にとらわれることなく、何よ りも店舗の「質」を重視するという姿勢を徹底し、また既存店の売上においては、好評を博しているポイントコレ クトキャンペーンを積極的に実施することで、お客様の来店動機を高めました。これらの成果は数値にも現れ始 めており、新店日販が前年同期に比べて2万3千円改善したほか、既存店売上高前年比のマイナス幅も-1.7%と 前期に比べて縮小しております。また、次ページでも詳しくご紹介しております通り、合併以降進めていたベン ダーと物流の統合も計画より前倒しで完了し、オリジナルのパン・デザートなどにおける商品ブランドについて も予定通り統合を終えました。

しかしながら、質の向上への取り組みは道半ばであり、私は満足しておりません。猛暑にもかかわらず伸び悩 んだ客数など、テコ入れしていかなければならない課題もまだあります。今後は、これまで統合作業に費やして いた内向きのエネルギーを外に向けることで、「攻め」の姿勢を加速していく考えです。

当中間期は不採算店舗の閉店を政策的に進めており、経常利益・中間純利益では、計画は上回ったものの減益 となるなど厳しい状況にあります。しかしながら、当社は株主様への利益還元の充実を経営の重要課題と認識し ており、当社の中期的な収益環境や財政状態などを総合的に勘案した結果、中間配当および期末配当をそれぞれ 1円増配し、通期では2円増配の1株あたり40円とさせていただく予定です。

今後も営業力を一層強化し、さらに質を追求することで、業績の向上を図っていく所存です。株主の皆さまには、 今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長中村元彦

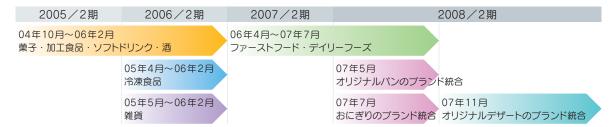
# 商品統合完了! 攻めのマーチャンダイジングへ

当社は合併以降、商品を供給しているベンダーの集約と物流の統合を進めてきましたが、2007年7月、予定していた秋よりも前倒しで、すべての商品カテゴリーの統合を完了しました。また、これまでサークルKとサンクスが別々に展開してきた商品ブランドについても次々と統合を進め、11月のデザートの統合をもってすべての商品ブランドが1つとなりました。

### ○ベンダー・物流統合

2004年9月の合併時より、徐々に対象カテゴリーを拡大しながら統合を進め、予定より早い2年9ヵ月の期間ですべてのベンダー・物流を統合しました。街で見かける配送トラックも、従来のチェーン別のものからすべてサークルKサンクスのロゴに統一されています。これまでの統合効果は25億円にのぼっており、今後は統合に伴って進めてきたサークルKサンクスの専用工場化による最新設備の導入や食材の統一によってさらなるおいしさを追求し、攻めのマーチャンダイジングを展開してまいります。

### ○ベンダー・物流統合スケジュール



### ●商品ブランド統合

### ①オリジナルパン「まごころ仕込み おいしいパン生活」登場

2007年5月、チェーン別に展開してきたオリジナルパンを統合し、新ブランドを立ち上げました。コンセプトは「毎日欠かせない一番身近なパン屋さん」で、10月からはサークルKサンクス専用油脂を使うことで「外はサクサク、中はしっとり」という理想の食感を追求した最強の「メロンパン」も登場しています。



### ②おにぎり「匠の握」、「極の具」の2ブランドへ

2007年7月、サークルKとサンクスのおにぎりブランドを、手巻おにぎり「匠の握」、高付加価値おにぎり「極の 具」という2つに統一するとともに、全面リニューアルを行いました。「匠の握」では三次元製法を取り入れること でふっくらとした食感を追求し、「極の具」では徹底的にこだわった具材を使用しています。

### ③オリジナルデザート 新ブランド「Ćherie Dolce」誕生

2007年11月、これまでチェーンごとに異なっていたオリジナルデザートを統合し、新ブランドを立ち上げました。Cherie Dolceとはフランス語とイタリア語を掛け合わせた言葉で「最愛のデザート」という意味を持っています。専門店に負けないこだわりと選べる楽しさをご提供できる売り場づくりを目指し、お客様に愛されるデザートに育て上げたいと考えています。



# 投資家の視点

# 出店および閉店

### Q. 当中間期(2007年8月期)における出店および閉店の状況は?

## A. 計画にはわずかに届かなかったものの150店を出店する一方、不採算店舗の整理を推し進め、 閉店は227店となりました。

当期は「量」にとらわれることなく、何よりも店舗の「質」を重視した出店を進めています。まず「量」の面ですが、 当中間期におけるサークルKサンクスの出店数は150店となり、計画の157店には7店及ばなかったものの、 未達幅は前期に比べて縮小しました。また重視している「質」の面においては、当中間期の新店日販が42万6千 円と前年同期に比べて2万3千円のプラスとなり、質の改善を図ることができました。質を重視した出店を進 める一方、当期は不採算店舗の整理も政策的に実施しています。当中間期の閉店数は、閉店時期が下期にズレ 込んだ影響で計画を24店下回りましたが、前年同期に比べて12店増の227店となりました。これらの結果、 2007年8月末の店舗数は前期末に比べ77店の純減となりました。

※店舗数は単体ベース

### ●通期の見通し

出店数は、上期に計画未達となった7店を下期計画に加え、通期では期首計画通りの320店を予定しています。 次ページでもご紹介している「ベンチャー社員制度」などを活用し、優良な加盟候補者を確保しながら、下期につ いても引き続き質重視の出店を続けてまいります。一方、不採算店舗の整理も進め、閉店数についても上期の計 画未達分24店にさらに7店を積み増し、通期で457店を閉める計画です。これらの結果、2008年2月末の店舗数 は前期末比137店マイナスの4,967店となる見込みです。

※店舗数は単体ベース



### 左:サークルK店舗数 / 右:サンクス店舗数(単位:店)

(注)上記はエリアフランチャイザーの店舗数を含んでいます。なお、今期より連結対象となった「99イチバ」(35店)およびニューコンセプトストア 「Fork Talk」(1店)の店舗数は含んでいません。

### ●「ベンチャー社員制度」の進捗状況

当社は2006年9月よりベンチャー社員制度を開始しました。ベンチャー社員制度とは、将来サークルKまたはサンクスを開業していただくことを前提とした契約社員制度で、当社の契約社員として、直営店で経営のノウハウをじっくり学びながら、1年後の独立開業を目指していただきます。2007年8月末のベンチャー社員数は57名となり、8月にはこの制度から初めて2名の方が独立を果たしました。現在、それぞれ新店のオーナーとして店舗を経営しています。ベンチャー社員は約1年の経験を積んでの開業となるため、スタート時点から高いオペレーションレベルで店舗を運営することができ、競争力の高い店舗の出店が可能となります。今後もベンチャー社員による新店を増やすことで、当社が最も重視している「質」を強化していく考えです。

### ●高速道路への出店

当中間期は、中日本高速道路株式会社の管内へ2店を出店しました。まず2007年4月、シャープ性とぬくもりの両面を演出した「サークルK大山田PA上り店」が東名阪自動車道に出店しました。続く7月、東海北陸自動車道にオープンした「サークルKひるがの高原SA下り店」は、白川郷の合掌づくりをイメージした三角屋根など飛騨高山の雄大な風景に融合した外観で、お客様に気軽にお立ち寄りいただける空間を演出しています。高速道路内という立地から、両店ともカウンターフーズの強化やドライブ関連商品の展開、コーヒーサーバーの投入など独自の品揃えを行っているほか、ともに環境負荷低減システムを導入しており、照明・床・天井・空調など様々な箇所において、「Reduce(廃棄物の発生抑制)」「Reuse(再使用)」「Recycle(再利用)」を目指した取り組みを行っています。



サークルK大山田PA上り店



サークルKひるがの高原SA下り店

### ◆◆◆お近くの店舗をお探しの株主様へ

左ページの地図でお住まいの都道府県に店舗があれば、当社ホームページの「店舗検索」ページよりお近くのサークルK・サンクスをご検索いただけます。住所や地図はもちろん、酒・タバコの販売や駐車場、ATMの有無など、店舗条件についてもご覧いただくことが可能です。ぜひご利用下さい。

当社ホームページの店舗検索ページより、簡単に検索いただけます。



# 2 既存店売上高前年比

### Q.当中間期(2007年8月期)の既存店売上高前年比は?

### A.-1.7%とマイナス幅は前期に比べて縮小しました。

長梅雨や台風の影響もあって客数が伸び悩み、2007年8月期の既存店売上高前年比は計画を下回る-1.7%となりました。しかしながら、ポイントを集めるともれなくプレゼントがもらえるポイントコレクトキャンペーンを3回実施するなど、販売促進活動を強化したことに加え、8月は記録的な猛暑に見舞われたため夏物商材が好調となり、前年同期の-4.7%と比べても既存店売上高前年比のマイナス幅は縮まるなど、回復基調を示しました。

### ●通期の見通し

下期については期首の計画を維持していますが、回復基調にはあるものの計画を下回った上期の実績を考慮し、 通期計画は期首予想を引き下げ-1.2%としました。

### ● グラフ解説

### 〇:2007年6月 既存店売上高前年比

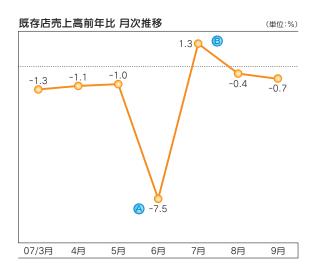
2006年7月1日よりたばこが増税となったため、増税前の駆け込み需要で2006年6月におけるたばこの売上前年比は37%増と大きく伸長しました。たばこの売上構成比は2007年8月期で19.4%と約2割にのぼることもあり、1年前のこの駆け込み需要の反動で、2007年6月の既存店売上高前年比は約4.8ポイント押し下げられました。

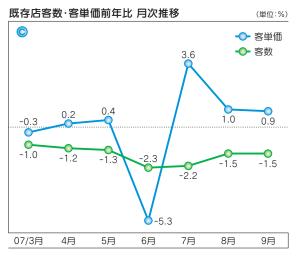
### B:2007年7月 既存店売上高前年比

上記Aの通り、2006年6月に見られた駆け込み需要の反動で、2006年7月のたばこの売上は前年比18%減と大きく下回りました。前年のこの買い控えの反動を受け、2007年7月の既存店売上高前年比は約3.0ポイント押し上げられています。

### ○: 既存店における客数·客単価前年比

客数は、長梅雨や台風の影響などもあり6月・7月に落ち込みが見られましたが、それ以外は基調に大きな変動は見られませんでした。一方、客単価の推移には上記のたばこの影響が反映されており、駆け込み需要の反動を受けた6月は落ち込み、一転7月は買い控えの反動で伸長しています。





### ●ポイントコレクトキャンペーンを引き続き展開

当中間期は、対象商品に貼られたシールなどポイントを点数分集めたお客様にもれなくプレゼントを差し上げる、「ポイントコレクトキャンペーン」を積極的に実施しました。キャンペーン期間中は対象商品の売上が伸長するなどご好評をいただき、お客様の来店動機を高めることができました。下期についても引き続き積極的に展開していく予定で、10月16日からは「ドラえもんフェア」を実施しました(11月19日まで)。年末年始のキャンペーンにもぜひご注目下さい。



ドラえもん絵皿 全3種類

ドラえもんマイバッグ 全2種類

◎藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK 2008

### ●関西地区でもATMサービスを展開

当社と株式会社りそな銀行は、関西地区(大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県)のサークルKおよびサンクス店舗へ、りそな銀行を幹事銀行とするATMを設置することで基本合意しました。今回展開するATMは当社オリジナルブランドの「Bank Time(バンクタイム)」で、2008年2月より順次導入を進め、7月を目処に設置を完了する予定です。



当社は既に中京地区(愛知県、岐阜県、三重県)、関東地区(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)の店舗を中心に2007年8月末現在で3,067台のATMを展開していますが、今回の合意によって中京・関東に次いで店舗数の多い関西地区でもATMを展開することが可能となり、サークルKサンクスにおけるATMの導入率は6割強となる予定です。客数の前年比が伸び悩む中、ATMの導入によって来店機会の拡大を図ってまいります。

### サークルKサンクス WAKUWAKU!ニュース速報

2007年11月中旬の最新ニュースをお届けします!

▶▶▶ 11月13日(一部地域は20日)より オリジナルデザートの新ブランド「Cherie Dolce」誕生 商品コンセプトは「コンビニデザートイメージからの脱却」です。専門店に負けないワンランク上の 本物のおいしさを備えつつ、特別なひとときを手軽に演出していきます。P.2もご覧下さい。



▶▶▶ 11月14日より オリジナルの高付加価値菓子シリーズ[ほがら菓たいむせれくと]を発売

当社オリジナルの105円(税込)均一菓子「ほがら菓たいむ」の高付加価値シリーズが登場しました。 質、安全・安心、健康の3つにこだわり、より良質なお菓子をご提供するブランドとして展開していきます。いずれも160円(税込)です。



### ▶▶▶ 11月14日より 105円(税込)の冷凍食品シリーズを発売

リーズナブルかつ品質にもこだわった105円(税込)の冷凍食品シリーズ全12アイテムを発売しました。 帰宅してからすぐにお召し上がりいただけるようなつまみ系や個食系のアイテムを充実させています。

※本誌編集時点での情報のため、変更となる場合があります。

# 3 連結業績

### Q.当中間期(2007年8月期)の連結業績は?

### A. 不採算店舗の閉店を推し進めたこともあり、利益面では前年同期を下回りました。

当期より連結子会社が1社増え、合計6社となりました(連結子会社についてはP.8とP.9もご参照下さい)。前述の通り、前期に比べてマイナス幅は縮小したものの、既存店売上高前年比が前年を割り込んだことに加え、前年同期を上回る閉店を実施したことにより、当中間期のチェーン全店売上高は前年同期を下回りました。一方、営業総収入は連結子会社の増加に加

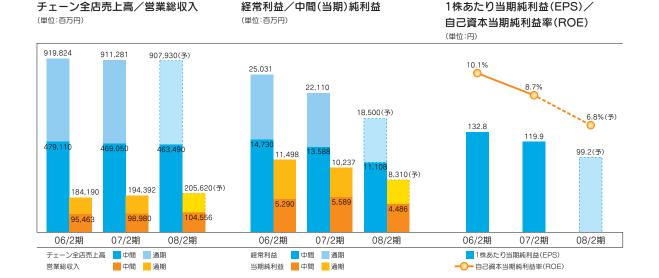
●連結業績ハイライ	<b></b>	(単位:百万円)
	07/8期	前年同期比
チェーン全店売上高	463,490	-1.2%
営業総収入	104,556	+5.6%
営業総利益	69,625	+0.2%
営業利益	11,567	-18.4%
経常利益	11,108	-18.2%
中間純利益	4,486	-19.7%
営業利益経常利益	11,567 11,108	-18.4% -18.2%

え、自営店の増加に伴う自営店売上高の増加により、前年同期比5.6%増となりました。しかしながら、営業総収入の多くを占める加盟店からの収入が減少したことなどで、営業総利益が前年同期比0.2%増にとどまったうえ、政策的に加盟店支援の経費を投入したことから、営業利益は前年同期比18.4%減の115億6千7百万円となりました。また、不採算店舗の整理を進め、閉店数が前年同期を上回ったことから閉店費用が増加し、経常利益は前年同期比18.2%減の111億8百万円、中間純利益は19.7%減の44億8千6百万円となりました。

### ● 通期の見通し

前述の通り、通期は期首計画を上回る閉店を実施する予定で、 既存店売上高前年比についても期首計画を引き下げました。これら前提条件の変更に加え、上期の状況を鑑み、当期末の自営店数が期首計画を上回ることが予想されるため、下期の販管費は期首計画比約20億円の増加を見込んでいます。また、特別利益として、旧サンクスアンドアソシエイツの厚生年金基金代行返上に伴う代行返上益約13億円が下期に計上される見込みです。これらの要因から、当社は期首に公表した通期の利益計画を修正いたしました。

●連結業績予想(修]	<b>正後)</b>	(単位:百万円)
	08/2期(予)	前期比
チェーン全店売上高	907,930	-0.4%
営業総収入	205,620	+5.8%
営業総利益	136,310	+1.7%
営業利益	20,570	-11.0%
経常利益	18,500	-16.3%
	8 310	-18.8%



# サークルKサンクス ホームページ全面リニューアル

### 「個人投資家のみなさまへ」誕生! (http://www.circleksunkus.jp/company/investor/individual/)

2007年10月1日、当社はホームページの全面リニューアルを行いました。「IR・投資家情報」は4月に先行してリニューアルを行いましたが、10月からはさらにパワーアップし、「個人投資家のみなさまへ」というページが加わりました。このページは株主様はもちろんのこと、今から当社への投資をお考えの個人投資家の皆さまにも、当社をあらゆる角度から知っていただきたく制作したものです。ここではその中から2つのコーナーをご紹介してまいります。



### サークルドサンクス これまでの歩み

「コンビニエンスストアの『サークルド』と『サンクス』という名前は聞いたことはあるけれど、同じ会社だったの?」そんな疑問をお持ちの方にぜひご覧いただきたいのが、この「これまでの歩み」です。サークルド・サンクスともに1980年に1号店を出店してから現在に至るまでの27年間について、写真や図を交えながらご紹介しています。



### 「WAKUWAKU!株主通信」株主様アンケート結果ご報告

P.16の通り、この「WAKUWAKU!株主通信」では株主様よりお寄せいただいたアンケートの集計結果を毎回ご報告していますが、この集計結果がホームページでもご覧いただけるようになりました。当社に対する株主様の評価を、個人投資家の方にも広く知っていただくことで、当社へのご理解をさらに深めていただきたいと考えています。



### ピックアップ サークルKサンクス! 第5回

### 「連結子会社」

当社の連結子会社は、当中間期で下表の6社となっています。P.13の個別財務諸表は、株式会社サークル Kサンクスのみの決算数値を示しており、これにこの6社が加わったものがP.9~12の連結財務諸表となります。当社が地元の有力企業と設立した合弁会社(エリアフランチャイザー)は現在13社ありますが、このうち当社の出資比率が100%である4社が連結子会社となっています。また、同じく当社の出資比率が100%である株式会社ゼロネットワークスは、「ゼロバンク」ほかATMの運用業務受託を行っています。

99円の価格帯を中心としたミニスーパーを展開している株式会社99イチバは順調に出店を進めており、2007年8月末現在の店舗数は35店となりました。





連結子会社	事業内容				
サンクス青森株式会社					
サンクス西埼玉株式会社	」 エリアフランチャイザー				
株式会社サンクス北関東	(コンビニエンスストア事業)				
サンクス西四国株式会社					
株式会社ゼロネットワークス	ATM運用業務の受託				
株式会社99イチバ	ミニスーパーの店舗経営				

# 要約財務諸表

### 連結子会社

当期より連結子会社が1社増え、合計6社となりました。このためP.9~12の連結財務諸表における数値は、決算期によって連結対象となる子会社の数が異なります。下記の通り、2006年8月期と2007年2月期は5社、2007年8月期は6社となっています。連結子会社の詳細についてはP.8をご覧下さい。

	06/8期・07/2期	07/8期
サンクス青森	0	0
サンクス西埼玉	0	0
サンクス北関東	0	0
サンクス西四国	0	0
ゼロネットワークス	0	0
99イチバ	_	0

### 有価証券

売上高が年間で最も大きい8月の買掛金 や法人税などの支払いに備え、債券の償 還金を換金が容易であるFFF(追加型の公 社債投資信託)とした結果、有価証券に含 まれるFFFは前期末に比べ90億4百万円 増加しました。これらにより、2007年8月 末の有価証券は前期末比90億8百万円増 加しました。

### 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

中间连和其旧对然久			(単位:日万円)
	2007年8月期 2007年8月31日現在	2007年2月期 2007年2月28日現在	2006年8月期 2006年8月31日現在
[資産の部]			
流動資産	96,826	88,511	107,575
現金及び預金	48,289	50,945	60,889
加盟店貸勘定	2,617	3,404	3,005
有価証券	23,019	14,011	23,210
たな卸資産	2,667	2,490	2,314
繰延税金資産	958	867	1,134
未収入金	11,287	9,300	_
その他	8,420	7,888	17,636
貸倒引当金	△434	△396	△614
固定資産	124,561	123,865	120,098
有形固定資産	46,201	46,319	43,974
建物及び構築物	32,726	32,437	30,485
器具及び備品	4,014	4,072	3,970
土地	8,638	8,944	8,878
その他	822	865	639
無形固定資産	7,869	6,351	5,868
ソフトウェア	3,706	3,047	2,838
ソフトウェア仮勘定	1,335	569	461
のれん	96	144	192
その他	2,731	2,590	2,376
投資その他の資産	70,490	71,193	70,255
投資有価証券	5,025	5,832	5,893
繰延税金資産	4,092	3,644	3,746
長期差入保証金	53,725	54,053	53,813
その他	9,000	9,117	8,253
貸倒引当金	△1,353	△1,454	△1,451
資産合計	221,388	212,377	227,674

(単位:百万円)

			(単位:百万円
	2007年8月期 2007年8月31日現在	2007年2月期 2007年2月28日現在	2006年8月期 2006年8月31日現在
[負債の部]			
流動負債	82,755	76,086	88,753
金掛買	45,324	36,470	46,073
加盟店借勘定	4,084	2,672	3,965
短期借入金	_	_	52
1年内返済予定長期借入金	_	_	66
未払金	4,983	5,738	4,850
未払法人税等	4,056	3,617	5,087
預り金	19,772	23,641	24,255
賞与引当金	773	765	800
役員賞与引当金	28	46	34
ポイント引当金	70	_	_
その他	3,662	3,133	3,568
固定負債	16,228	16,407	16,997
長期借入金	_	_	77
退職給付引当金	2,516	2,380	2,292
預り保証金	11,459	11,753	12,297
リース資産減損勘定	1,312	1,150	1,067
その他	940	1,124	1,261
負債合計	98,983	92,493	105,750
[純資産の部]			
株主資本	121,667	119,070	121,062
資本金	8,380	8,380	8,380
資本剰余金	36,093	36,093	36,093
利益剰余金	82,218	79,617	76,606
自己株式	△5,025	△5,021	△18
評価·換算差額等	658	812	860
その他有価証券評価差額金	658	812	860
少数株主持分	78	0	0
純資産合計	122,404	119,883	121,923

### 預り金

預り金の主な内容は、公共料金などの収納 代行サービスによる取扱いと電子マネー Edyカードへのチャージ(入金)です。2007 年8月期における料金収納の取扱い額は、 エリアFCを含むサークルドサンクス合計 で前年同期比10%増と伸長していますが、 期末日における収納分の支払い額が大き かったことで、2007年8月末の預り金は前 期末に比べ38億6千9百万円減少しました。

### ポイント引当金

サークルKまたはサンクスの店舗において、電子マネーEdyを搭載した当社オリジナルの「KARUWAZA CLUBカード」でお買い上げいただくと、100円につき1ポイントを差し上げています。貯まったポイントは当社店舗にてお使いいただける金券などと交換をしておりますが、これらポイントの使用に備えるため、当中間期において将来使用されると見込まれる額をポイント引当金として7千万円計上しました。

### 営業総収入

営業総収入は営業収入と売上高から構成 されています。営業収入の約9割を占める のが加盟店からの収入です。フランチャ イズ事業を展開する当社は、コンビニエ ンスストア経営のノウハウをご提供する 対価として、加盟店よりロイヤルティを 受領しています。これが加盟店からの収 入です。このロイヤルティは加盟店の荒 利益に掛かるため、07/8期の既存店売上 高前年比が-1.7%だったことや店舗が純 減していることなどにより加盟店からの 収入が減少し、営業収入は前年同期に比 べ10億8千万円減となりました。一方、自 営店の増加に伴い自営店売上高が66億5 千7百万円増加したことから、営業総収入 は55億7千6百万円の増加となりました。

### 販売費及び一般管理費

当期より連結子会社が1社増えたこともあり、前年同期比27億5千2百万円の増加となりました。主な内訳を見ると、P.6でご紹介したポイントコレクトキャンペーンなど、加盟店支援や売上向上に向けた販売促進策を政策的に実施したことにより、広告・販促費は前年同期に比べ7億3千8百万円増加しました。また、新規出店の家賃相場が上昇していることに加え、より良い立地へ店舗を移転するリロケートの推進に伴い、駐車場スペースなど店舗面積が拡大していることもあって、地代家賃は11億2千1百万円増加しました。

### 中間連結損益計算書

(甾位:百万円)

中间连和垻並引昇音			(単位:白万円)
	2007年8月期 2007年3月1日から 2007年8月31日まで	2006年8月期 2006年3月1日から 2006年8月31日まで	増減
営業収入	58,681	59,761	△1,080
売上高*	45,875	39,218	6,657
営業総収入	104,556	98,980	5,576
売上原価	34,931	29,505	5,425
営業総利益	69,625	69,475	150
販売費及び一般管理費	58,058	55,306	2,752
営業利益	11,567	14,168	△2,601
営業外収益	801 601		199
営業外費用 ヒント!	1,260	1,182	77
経常利益	11,108	13,588	△2,479
特別利益	148	132	16
特別損失 ヒント!	3,291	3,450	△158
税金等調整前中間純利益	7,965	10,270	△2,304
法人税、住民税及び事業税	(住民税及び事業税 3,961 4,864		△903
法人税等調整額	△435	△183	△251
少数株主利益(△:損失)	△46	△0	△46
中間純利益	4,486	5,589	△1,103

※自営店の売上高で、加盟店売上高は含まれていません。

# 財務諸表の

# ヒント!

中間連結損益計算書に対するコメントとして、P.7の連結業績に関するご説明もご参照下さい。

### 財務諸表の

# ヒント!

### Q. 閉店に伴う費用とは?

A. 閉店に伴う費用はその内容によって、計上箇所が営業外費用と特別損失に分かれています。賃貸契約の中途解約によって発生する敷金・保証金および賃料の損害金や原状回復費用などは営業外費用へ、当社資産(店舗什器や建物など)の除却やリース契約の中途解約による損失は特別損失へ計上されています。なお、2007年8月期における閉店費用は、営業外費用で11億7千5百万円、特別損失で5億2千2百万円となりました。

### 中間連結株主資本等変動計算書

2007年8月期 (2007年3月1日から2007年8月31日まで)

(単位:百万円)

			株主資本			評価·換	算差額等		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価·換算 差額等 合計	少数株主持分	純資産合計
2007年2月28日残高	8,380	36,093	79,617	△5,021	119,070	812	812	0	119,883
当中間期中の変動額									
剰余金の配当			△1,591		△1,591				△1,591
中間純利益			4,486		4,486				4,486
自己株式の取得				△3	△3				△3
自己株式の処分		△0		0	0				0
連結子会社の増加			△294		△294				△294
株主資本以外の項目の 当中間期中の変動額(純額)						△154	△154	78	△75
当中間期中の変動額合計	_	△0	2,600	△3	2,596	△154	△154	78	2,521
2007年8月31日残高	8,380	36,093	82,218	△5,025	121,667	658	658	78	122,404

### 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2007年8月期 2007年3月1日から 2007年8月31日まで	2006年8月期 2006年3月1日から 2006年8月31日まで	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,329	23,168	△6,839
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,514	△7,247	△1,267
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,964	△2,343	379
現金及び現金同等物の増加額	5,849	13,577	△7,727
現金及び現金同等物の期首残高	64,957	68,803	△3,846
新規連結子会社の増加に伴う			
現金及び現金同等物の増加額	502	1,518	△1,016
現金及び現金同等物の中間期末残高	71,309	83,899	△12,589

### 現金及び現金同等物の中間期末残高

2007年8月期の期末残高は、期末日における料金収納の支払い額が大きかったことなどもあり(P.10「預り金」項目ご参照)、前年同期末より125億8千9百万円減少し713億9百万円となりました。この内訳は、P.9の連結貸借対照表における「現金及び預金」482億8千9百万円と「有価証券」に含まれるMMF20億9百万円およびFFF210億1千万円になります。MMFやFFは容易に換金ができるうえ、価値の変動についてはわずかなリスクしか負わないため、現金同等物として取り扱っています。

### **山間個別貸借対照表**

(単位:百万円)

中間個別貸借对照表							
	2007年8月期 2007年8月31日現在	2007年2月期 2007年2月28日現在					
 [資産の部]							
流動資産	95,160	86,903					
固定資産	122,074	121,546					
有形固定資産	43,202	43,626					
無形固定資産	7,728	6,216					
投資その他の資産	71,143	71,702					
資産合計	217,235	208,449					
 [負債の部]							
流動負債	78,219	72,079					
固定負債	15,788	15,973					
負債合計	94,008	88,052					
 [純資産の部]							
株主資本	122,567	119,581					
資本金	8,380	8,380					
資本剰余金	36,093	36,093					
利益剰余金	83,118	80,129					
自己株式	△5,025	△5,021					
評価·換算差額等	658	815					
その他有価証券評価差額金	658	815					
純資産合計	123,226	120,397					
負債純資産合計	217,235	208,449					
<u> </u>							

### 中間個別損益計算書

(単位:百万円)

十四四次3天型01开口		(丰匹:日/기 1)
	2007年8月期 2007年3月1日から 2007年8月31日まで	2006年8月期 2006年3月1日から 2006年8月31日まで
営業収入	56,921	57,935
売上高	39,718	35,581
営業総収入	96,640	93,517
売上原価	29,867	26,764
営業総利益	66,773	66,752
販売費及び一般管理費	54,989	53,030
営業利益	11,783	13,722
営業外収益	750	580
営業外費用	1,271	1,130
経常利益	11,263	13,172
特別利益	136	132
特別損失	3,329	3,511
税引前中間純利益	8,069	9,792
法人税、住民税及び事業税	3,951	4,679
法人税等調整額	△462	△356
中間純利益	4,580	5,469

### 中間個別株主資本等変動計算書

2007年8月期 (2007年3月1日から2007年8月31日まで)

(単位:百万円)

2007年5月1日から2007年5月1日から2007年6月31日よど) (単位・日									ыт· ( П ( ) ( )								
	株主資本								評価·換算差額等								
			資本剰余金			利益	剰余金		自己株式	自己株式				その他			
	資本金		その他資本	資本剰余金		その他利	益剰余金	利益剰余金			株主資本	有価証券	評価·換算	純資産合計			
	吳本並	資本準備金	剰余金	合計	利益準備金	別途 積立金	繰越利益 剰余金	合計			COMP	BOMP	BOMP			合計	評価差額金
2007年2月28日残高	8,380	36,090	3	36,093	687	68,921	10,520	80,129	△5,021	119,581	815	815	120,397				
当中間期中の変動額																	
剰余金の配当							△1,591	△1,591		△1,591			△1,591				
中間純利益							4,580	4,580		4,580			4,580				
自己株式の取得									△3	△3			△3				
自己株式の処分			△0	△0					0	0			0				
別途積立金の積立						7,300	△7,300	_		_			_				
株主資本以外の項目の 当中間期中の変動額(純額)										_	△156	△156	△156				
当中間期中の変動額合計	_	_	△0	△0	_	7,300	△4,310	2,989	△3	2,986	△156	△156	2,829				
2007年8月31日残高	8,380	36,090	3	36,093	687	76,221	6,209	83,118	△5,025	122,567	658	658	123,226				

# 社会的責任への取り組み Corporate Social Responsibility (CSR)

### ○サークルKとサンクス 店頭募金統一へ

2007年8月1日より、これまでサークルKとサンクスで別々に展開していた店頭募金を見直し、寄託先から募金箱に至るまで内容の統一を行いました。

### 変更点その1: 寄託先と実施期間

以前はサンクスでは年間を通じて1つの寄託先へ募金を実施してきましたが、8月1日よりサークルK・サンクスともに1年を3期間(4ヵ月ずつ)に分け、期間ごとに別の寄託先へ募金を行うこととしました。また、活動内容を基に寄託先を見直し、従来サークルKで実施していた「全国盲導犬普及キャンペーン」とサンクスで実施していた「ユニセフ募金」に加え、新たに「緑の募金」を寄託先として選定しました。

実施期間	寄託先	活動内容
4月~7月	全国盲導犬普及キャンペーン (全国盲導犬施設連合会)	盲導犬の育成はもちろん、盲導犬の普及によって1人でも多くの視覚障害者が自立し、社会へ参加する機会が増えるよう啓発活動も行っています。
8月~11月	New! 緑の募金 (社団法人国土緑化推進機構)	森林は私たちに限りない恵みとうるおいを与えています。この森林の整備や緑化の推進、緑を通じた国際協力など、国内はもとより地球規模において森林を中心とした緑づくりを推進しています。
12月~3月	<b>ユニセフ募金</b> (財団法人日本ユニセフ協会)	主に開発途上国の子どもたちを対象とし、156の国と地域で(2006年現在)子どもたちの生存と健やかな発達を守るため、該当国の政府やNGO、コミュニティと協力しながら支援事業を実施しています。

### 変更点その2:募金箱

これまでサークルKとサンクスで別々だった募金箱を統一しました。レジ 周りのレイアウトを考慮し、コンパクトかつ、お客様に実施中の寄託先をご 覧いただきやすいよう、見やすさにも配慮したデザインを採り入れました。 また、1店あたりの募金箱の設置数についても1個から2個へ増やしました。



現在、実施中の 寄託先です。 前の実施した募金の

前回実施した募金の総額をお伝えしています。

### ●WAKUWAKU!レポート 社会環境報告書2007発行

2007年7月30日、「WAKUWAKU!レポート社会環境報告書2007」を発行しました。昨年よりE@BOOK形式のものを当社のホームページに掲載し、インターネット上でも実際にページをめくる要領でご覧いただけるようになりました。また、ご希望の方には郵送もさせていただいております。

下記の当社ホームページまたは添付のアンケートハガキよりご請求下さい。

### 【当社ホームページ お問い合わせ「環境報告書のご請求」】

http://www.circleksunkus.jp/inquiry/

# ○名古屋市緑区内のサークルKにて オリジナルマイバッグ無償配布

2007年10月1日より名古屋市緑区内でレジ袋有料化条例が施行されるのに伴い、当社は同区内のサークルK22店舗にて10月1日よりオリジナルマイバッグ4,400個を無償配布しました。今回の企画は当地域限定の実験的な取り組みですが、状況を検証しながら、今後のレジ袋削減への取り組みを検討していきます。





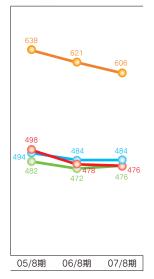
縦36cm × 横28cm × 幅18cm のバッグが、折りたたむと 縦3.5cm × 横10cm × 幅2.5cm のコンパクトサイズに!

# ンビニエンスストア業界比較

### 全店日販

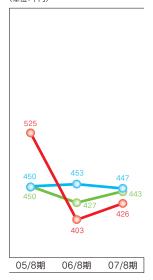
1日1店あたり平均売上高

(単位:千円)



### 新店日販

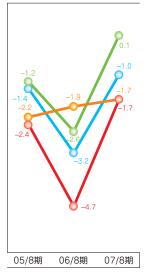
新店(=開店後1年以内の店) の1日1店あたり平均売上高 (単位:千円)



### 既存店売上高前年比

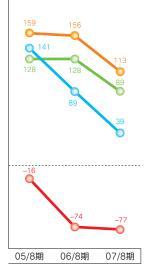
既存店(=開店後1年以上経過 した店)の売上高前年比

(単位:%)



### 店舗純増減数

(単位:店)







**-**◆ サークルKサンクス - セブン-イレブン - ローソン - ファミリーマート

### 全店日販

セブン-イレブンのみ60万円台を維持し、ローソン、 ファミリーマート、サークルKサンクスはいずれも40万 円台後半となりました。06/8期との比較では、セブン-イレブンが1万5千円減、サークルKサンクスが2千円減 となる一方、ファミリーマートが4千円増、ローソンは変 わらずとなり、基調は各社各様でした。

# 既存店売上高前年比

07/8期はファミリーマートのみ前年を上回る+0.1% となりましたが、セブン-イレブン、ローソン、サークル Kサンクスの3社はマイナス1%台となりました。ファミ リーマートを除く3社の既存店売上高前年比はマイナス ではありましたが、05/8期および06/8期と比較すると、 全社とも改善する結果となりました。

### 新店日販

店舗の認知度は出店後徐々に上がっていくため、概し て新店日販は全店日販より低い数値となります。 セブ ン-イレブンを除く3社とも全店日販よりやや低い40万 円台前半となりました。06/8期比では、ローソンが6千 円減となる一方、サークルKサンクスは2万3千円増、 ファミリーマートは1万6千円増となりました。

### 店舗純増減数

07/8期は、サークルKサンクスを除く3社が店舗数純 増となりましたが、純増数は全社が06/8期を下回る結果 となりました。なお、07/8期のエリアフランチャイザー を除く店舗数は、セブン-イレブン11,848店、ローソン 8.603店、ファミリーマート6.590店、サークルKサンク ス5,026店でした。

(注)各社実績は、各社の決算発表資料および報道資料などより引用しました。なお、セブン-イレブンの新店日販は決算発表資料における記載がないため、 上記グラフより除いております。

# 株主様アンケート結果のご報告

2007年2月期「WAKUWAKU!株主通信!において、アンケートを実施させていただきまし たところ、1,122名の方よりご回答をお寄せいただきました。お忙しい中ご協力いただき誠 にありがとうございました。下記にご回答の集計結果をご報告いたします。

### ●当社株式に関する今後の方針

06/8期末に比べて「買い増し」が4ポイント減少しました が、「無回答」は増えたものの「長期保有」と「売却」に大きな変 化はありませんでした。



### ●当社IRへの評価

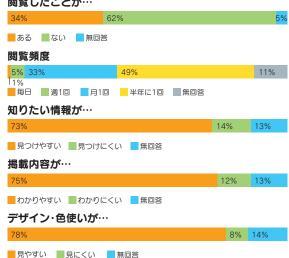
06/8期末に比べると「良い」が6ポイント減少し、その分 「普通」が増加しました。このため「良い」と「普通」のご評価は ほぼ半々となりました。「良い」というご評価を少しでも多く いただけるよう「WAKUWAKU!株主通信」やホームページ のわかりやすさ向上を目指してまいります。



### ○当社ホームページについて

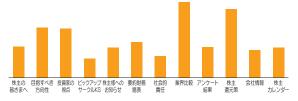
当社ホームページをご覧になったことがある方が34%、 ない方が62%となりました。ご覧になったことがある方の関 覧頻度は「半年に1回」が半数で、「月1回」の方も33%いらっ しゃいました。また、情報の見つけやすさ・内容のわかりやす さ・デザインの見やすさは、ともに7割強の方より「良い」との ご評価をいただきました。P.8の通り、10月1日よりホーム ページの全面的なリニューアルを図り、IRについても「個人 投資家のみなさまへ」というコーナーを新設しております。 ぜひご覧下さい。

### 閲覧したことが…



### ○「WAKUWAKU!株主通信 | において 関心の高かった項目

「株主還元策」もさることながら、「コンビニエンスストア業 界比較」や「当社が目指すべき方向性」、「投資家の視点」など当 社の現状や方向性を多角的にご説明した項目において興味深 いとのお声を多くいただきました。



### ご質問・ご要望より

### Q. サークルKとサンクスの統合効果は上がっているのか?

A. 当社は2004年9月の合併以降、ベンダー・物流・商品ブ ランドの統合を実施してまいりました。効率の改善を 図ることはもちろん、おいしさの向上も目指しており、 これまでの統合効果は25億円にのぼっています。詳し くはP.2をご覧下さい。

### Q. 「KARUWAZA CLUB」の会員数はどれくらいいるのか?

A. 当社の会員組織「KARUWAZA CLUBIの会員数は 2007年8月末で27万2,948名となりました。この半年 間で5万6,496名増加と26%の伸びを示しています。

### アンケートご協力のお願い

当社は株主様のご意見を直接お聞かせいただく貴重な 場として、アンケートを実施させていただいております。 この株主通信やIR活動、経営全般に対する率直なご意見 をお寄せいただければ幸いです。頂戴したご意見は今後 のIRへ活かし、できる限りこの株主通信にも反映してま いります。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。 ご回答をご記入のうえ、ご住所とお名前の欄に添付のプ ライバシー保護シールを貼り、切手を貼らずにそのまま ご投函下さい。

### 個人情報の取り扱いについて

アンケートにご記入いただきましたお名前・ご住所・性別・年齢 の個人情報は、アンケート結果の分析および頂戴したご質問など に対する当社からの返信のみに使用し、法令を遵守のうえ厳格に 管理いたします。

# 株主還元策

### 2008年2月期 年間配当2円増配

前述の通り、業績面においては厳しい状況にありますが、日頃より当社をご支援くださる株主の皆さまへ利益還元をさせていただきたく、2008年2月期の年間配当を前期に比べて2円増配し、中間配当・期末配当ともに1株あたり20円とさせていただく予定です。これにより2008年2月期の年間配当は40円となり、配当性向は40.3%となる見込みです。

### 【株主還元策の基本方針】

当社は、将来における事業成長の維持に必要な経営 基盤を強化するため、店舗システムや新店の開発、既 存店の活性化、新規商品の什器設備などの投資に充て る内部留保を充実させながら、利益の成長に応じて株 主の皆さまに利益還元を行うことを基本方針としてお ります。具体的には、安定配当の維持を第一に考えな がら、連結当期純利益の25%を配当として還元する方 針であり、将来的には配当性向を30%に高めていきた いと考えております。

### 配当性向



### 【株主優待制度】

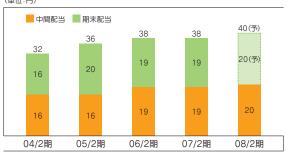
株主様にご来店のきっかけとしていただきたく、当社ではサークルK・サンクス全店でご利用いただける「株主様ご優待カード」を右表の通り株数に応じて年2回進呈しています。「株主様ご優待カード」は、下記\*を除くすべての商品のお支払いにご利用いただけます。お近くに店舗のない株主様には大変ご不便をおかけいたしますが、約1年間有効ですので、出店地域へお出かけの際にご利用いただければ幸いです。有効期限の詳細については裏表紙のカレンダーをご参照下さい。なお、有効期限を過ぎたカードはご利用いただけませんのでご3承下さい。

### ※「株主様ご優待カード」をご利用いただけないもの

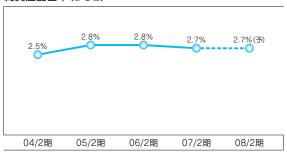
- ・公共料金や通信販売代金などの料金収納
- 電子マネーEdyへのチャージ(入金)

### 配当金

(単位:円)



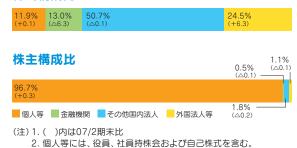
### 純資産配当率(DOE)



ご所有株式数	株主優待内容		
100~499株	1,000円分 (年2,000円分)	4500 0 E	
500~999株	2,500円分 (年5,000円分)	¥500 8 ±	
1,000株以上	5,000円分 (年10,000円分)	¥500 0 ±	

# 株式情報/会社情報(2007年8月31日現在)

### 株式構成比



### 株主数の推移 (単位:名)



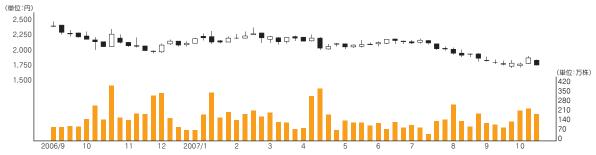
株主数は前期末より744名増加し、過去最高となりました。 これに伴い、株主構成比の「個人等」も0.3ポイント増となりました。また、株式構成比では「金融機関」が6.3ポイント減少する一方、「外国法人等」が6.3ポイント増加しました。

### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
1 ユニー株式会社	40,746,520	47.28%
2 ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	5,937,518	6.89%
3 全国共済農業協同組合連合会	2,698,500	3.13%
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,969,500	2.29%
5 ピージージーエム	1,785,200	2.07%
日本トラスティ·サービス 信託銀行株式会社(信託口4)	1,252,200	1.45%
日本トラスティ·サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,201,700	1.39%
メリルリンチ インターナショナル 8 エクイティ デリバティブス	1,156,400	1.34%
9 モルガン·スタンレーアンド カンパニーインク	759,301	0.88%
10 ドイチェ バンク アーゲー ロンドン 610	696,563	0.81%

(注) 当社は自己株式2,425,135株を所有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

### 株価および出来高の推移



### 会社概要

商号 株式会社サークルドサンクス 本部所在地 〒104-8538 東京都中央区晴海2-5-24 晴海センタービル

**電話番号** 03-6220-9000(代表) 登記上本店所在地 愛知県稲沢市天池五反田町1番地 ホームページアドレス http://www.circleksunkus.jp/

設立2001年7月2日(年)資本金83億8,040万円発行済株式総数86,183,226株銘柄コード3337 サークルKS従業員数1,745名

(注) サークルKサンクスの前身であるサークルケイ・ジャパン株式会社が、持株会社の株式会社シーアンドエス発足に伴い会社分割した日。 会社分割前のサークルケイ・ジャパン株式会社は1984年1月26日設立。

### 役員のご紹介

取締役会長 <sup>なかむら</sup> もとひこ 中村 元彦 代表取締役社長(営業統括本部長) 専務取締役 業務統括本部長 兼 システム本部長 いしはら あきら 兼 店舗インフラ推進室長) 専務取締役(エリア・関係会社統括本部長 夫馬 兼 関係会計管理本部長) としふみ 平野 取締役(エリアFC本部長) おんどう 記康 取締役(運営本部長) 取締役 経営戦略室長 兼 お客様・オーナー相談室長 たかはし 兼 内部統制·環境統括室長) <sup>ささき</sup> 佐々木 取締役(非常勤) 孝治 常勤監査役 髙須 邦夫 が勉 Ш̈́ 常勤監査役 監査役 桂川 明 監査役 都築 義明

# 株主様お役立ち情報

### 株主様カレンダー

2007.11.15

- ①中間配当関係書類 ②株主様ご優待カード
- ③本冊子を発送

¥500 > 0 =

2007.11.16

配当金振り込みの方

本日付でご指定の口座へ 振り込まれます 2007.11.16 - 12.17

配当金領収証受け取りの方

ゆうちょ銀行および郵便局で お受け取りになれます

(12.18以降はお近くの) 住友信託銀行にて お受け取り下さい 2007.11.30

株主様ご優待カード ご利用最終日 (06年秋発行分)





2007.12.28(予定) 08年2月期第3四半期 決算発表

2008.2.14 - 2.29 単元未満株式買い増し 手続き停止期間 2008.2.25

サークルKサンクス 権利付株式最終売買日

2.26-2.29に当社株を ご購入されても、 08年2月末における配当・ 優待の権利は得られません 2008.2.29 08年2月期末

2008.4.10(予定) 08年2月期決算発表

2008.5 月下旬 第7回定時株主総会

2008.5.31

株主様ご優待カード ご利用最終日 (07年春発行分)





### 2008年2月期中間配当:1株あたり20円

お支払い金額=20円×ご所有株式数×0.9

/×0.9は源泉徴収税として10%が引かれるため\ 、 ※法人の場合を除く/

### 単元未満株式買い増し制度

単元(100株)未満株式の買い増し制度により、例えば現在30株をお持ちの場合、70株を買い増して100株にすることが可能です。下記の受付停止期間を除いて1年中いつでも買い増しいただけます。手続きの詳細は、株式のご所有形態によって異なりますので、下記までお尋ね下さい。

### ◆ 受付停止期間

本決算および中間決算の期末日を含む各々それ以前の 12営業日(上記カレンダーご参照) ※当社が売り渡すべき株式を保有していない場合、

◆ お問い合わせ先

保管振替制度をご利用の方 → お取引の証券会社 登録株となっている方 → 住友信託銀行 (右記[株主メモ」ご参照)

ご請求に応じられないことがあります。

株主メモ

決算期 毎年2月末日

株主確定基準日

①定時株主総会、利益配当金:毎年2月末日②中間配当金:毎年8月31日

その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

定時株主総会 決算期から3ヵ月以内

1単元の株式数 100株

上場証券取引所

東京証券取引所および名古屋証券取引所市場第一部

公告掲載新聞名 □本経済新聞

株主名簿管理人

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

住所変更等用紙のご請求 その他ご照会 0120 -175 - 417

0120 -176 - 417

(インターネットホームページURL)

http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

同取次所

住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店